

真名川発電所の出力変更

2024年3月29日
北陸電力株式会社

当社は、真名川発電所の発電所出力を1,000kW増加し、昨日（3月28日）から営業運転を開始しましたので、お知らせします。

当社は、電源の脱炭素化の取組みの一つとして、水力発電電力量の拡大を目指し、積極的に取り組んでおります。

このたび、九頭竜川水系の真名川発電所において、性能確認試験を行った結果、設備裕度の有効活用（有効落差の増加）により、発電所出力を1,000kW増加できることを確認したことから、下記のとおり出力を変更しました。

なお、出力変更に伴い、電気事業法の規定^{※1}に基づき、発電事業変更届出書を2024年3月13日に経済産業大臣へ届出を行っております。

当社は、引き続き、再生可能エネルギーの導入拡大などにより、脱炭素社会の実現に積極的に取り組んでまいります。

記

発電所名	最大出力	年間発電電力量（増加量）	CO ₂ 排出量削減効果 ^{※3}
まながわ 真名川発電所 （福井県大野市五条方）	15,200kW （1,000kW増）	年間約71万kWh ^{※2}	年間約330トン

以上

別紙：真名川発電所の概要

※1 電気事業法の規定（第27条の27第3項、第4項）
発電事業の届出事項に変更がある場合、経済産業大臣への届出が必要であることを規定

※2 一般家庭約250世帯の年間使用電力量に相当

※3 当社2022年度調整後CO₂排出係数を使用して試算

真名川発電所の概要



真名川発電所 本館



発電機

	発電所諸元
運転開始年月	1977年4月
水車形式	立軸単輪単流渦巻フランス水車
発電機形式	立軸三相交流同期発電機
主機台数	1台
発電所出力	15,200kW (1,000kW増)
有効落差	117.00m (7.00m増)
増分発電電力量	約71万kWh/年